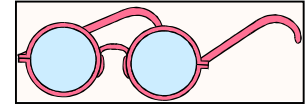


# レ ス ス ン プ ラ ン

5 学年            第 3 回            (相互依存関係認識①)



テーマ : 「本当の外国の生活って? (固定観念について)」

## 授業の目標:

- (1)自分たちが持っている固定観念に気づき、そのような固定観念がいつも正しいとは限らないことを知る
- (2)海外では、日本人がどのようにとらえられているかを知る。
- (3)見かけや国籍で人を判断するのではなく、一個人として他人を扱う事ができる

## 用意するもの :

	ALT	担当教師
<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> いろいろな国の人々の写真</li> <li><input type="checkbox"/> ALTの母国の学校・日常生活に関するアンケート用紙 (事前に担当教師に渡す)</li> <li><input type="checkbox"/> イギリスの生徒による日本の学校・生活に関するアンケートの集計結果</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ALTの母国の学校・生活に関するアンケート用紙 ※必ず事前に生徒に配布し記入するように指示しておく</li> <li><input type="checkbox"/> 自分自身が持っている外国に対する固定観念の例を説明できるようにしておく</li> </ul>

時間	活 動	気付いた点
10分	<p><b>担当教師</b>と<b>ALT</b>は挨拶し、<b>担当教師</b>は本時のテーマを告げる。<b>担当教師</b>は子どもたちを3～4人のグループに分け、大きな写真の一部をそれぞれのグループに分ける。<b>ALT</b>はそれぞれのグループに、写真の中の人がどこの国の人か教える。子どもたちはその写真の中の人が何をしているところか、どんな気持ちか、どんな生活を送っているかについて想像する。子どもたちからは、固定観念にとらわれた答えが出てくると予想される。子どもたちはグループごとに自分たちの推測について発表し、その後、<b>ALT</b>は絵全体を見せて正しい情報を提供し、“思いこみ”が、物を見るときに影響しているかを指摘する。</p>	
20分	<p><b>ALT</b>の母国に関するアンケート用紙を用い、話し合いを行う。<b>担当教師</b>は、いくつかの質問を選び子どもたちに答えを言ってもらい、<b>ALT</b>は子どもたちの答えに関してコメントする。誤解や思い込みがあればそれを指摘する。</p>	
10分	<p><b>ALT</b>は、イギリスの子どもたちが日本の学校や生活について答えたアンケートの結果を読む。<b>担当教師</b>は、その結果について子どもたちがどう思ったか聞き、そのようなイメージの良い点悪い点に気付かせる。</p>	
5分	<p><b>担当教師</b>は“固定観念”(思いこみ)について、簡潔に説明し、私たちが“思いこみ”を持つことによって、どんな問題が起こってくるかについて子どもたちと話し合う。<b>担当教師</b>と<b>ALT</b>は自分自身が持っている“思いこみ”を例に出し、そのどこが正確で、どこが誤解となっているか話す。最後に、<b>担当教師</b>は授業のまとめをする。</p>	